



種 別	市指定 無形民俗文化財
名 称	くりやまだいかぐら 栗山太神楽
指定年月日	平成14年1月11日
所 有 者	栗山太神楽保存会

宝永年間(1704～10)には演じられていたという記録が残っているが、起源は不明である。

盛岡七軒丁の獅子舞の流れを汲み、下北地方では東通村目名神楽とともに師匠とされている。

獅子頭は雄獅子で、全体が青色になっている。田名部神社祭礼には神輿渡御、山車運行の先頭に立ち先祓いをする。その他、正月の門打ち、稲荷神社祭礼、屋固めなどを行う。

「七絃調」と呼ばれる「踊獅子」の他、手踊りなども継承している。